



F コマンド

この章では、F で始まる Cisco NX-OS Routing Information Protocol (RIP) コマンドについて説明します。

feature rip

Routing Information Protocol (RIP) をイネーブルにするには、**feature rip** コマンドを使用します。RIP をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

feature rip

no feature rip

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

ディセーブル

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

RIP を設定する前に、RIP 機能をイネーブルにする必要があります。



(注)

Cisco NX-OS Release 5.0(3)N1(1) では、レイヤ 3 機能がイネーブルになっている Cisco Nexus 5548 スイッチおよび Cisco Nexus 5596 でのソフトウェア アップグレードは中断されます。スイッチと Cisco Nexus 2000 シリーズ ファブリック エクステンダをリロードする必要があります。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。



(注)

レイヤ 3 インターフェイスをイネーブルにするため、LAN Base Services ライセンスがスイッチにインストールされていることを確認します。

例

次に、RIP 機能をイネーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# feature rip
switch(config)#
```

次に、RIP 機能をディセーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# no feature rip
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
router rip	RIP インスタンスを作成します。
show feature	スイッチの機能のステータスを表示します。
show rip	RIP 構成情報を表示します。

